

# 企業景況調査報告書

(令和2年4~6月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	.....	1
質問2 直面している経営上の問題点	.....	2
質問3 賃上げの実施状況について	.....	3
質問4 意見等自由記載欄	.....	4
DI集計結果・分布	.....	5
調査票様式	.....	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2020年4～6月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社  
 （建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社）

## 調査方法

各事業所宛にFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

令和2年7月上旬

## 回収状況

91社（回収率91%） ※前回（1～3月）95社  
 （建設業21社、製造業17社、卸売業8社、小売業19社、サービス業20社、その他6社）

### 今期の状況は引き続き下降傾向が続くが、来期は上昇する見通し

#### <今期の状況>（5ページ表参照）

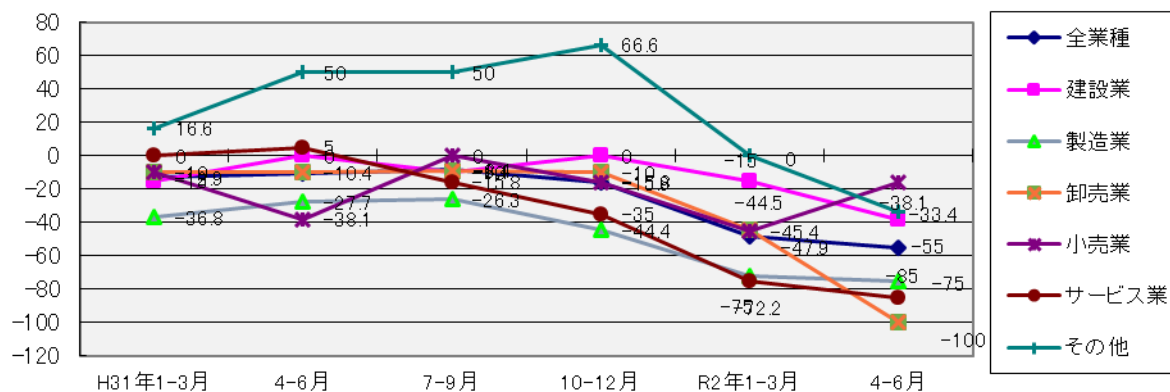
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲47.9から下降し、▲55.0となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲38.1（前期▲15.0）、製造業は▲75.0（前期▲72.2）、卸売業は▲100.0（前期▲44.5）、サービス業は▲85.0（前期▲75.0）、その他の業種は▲33.4（前期0.0）と5業種で下降している。一方、小売業では▲15.7（前期▲45.4）と上昇している状況である。

#### <来期の見通し>（5ページ表参照）

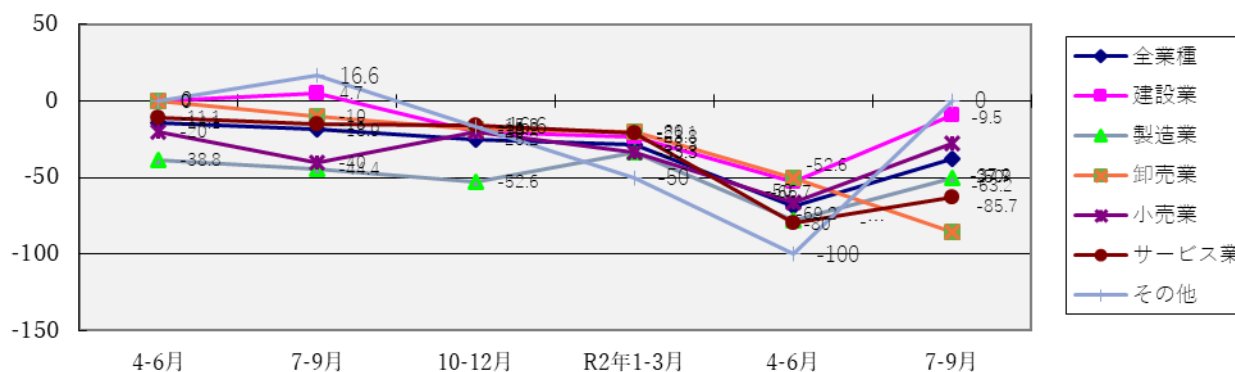
来期の見通し（2020年7～9月）では、全業種のDI値は前期の▲69.2から上昇し、▲37.9となった。業種別に見ると建設業は▲9.5（前期▲52.6）、製造業は▲50.0（前期▲77.8）、小売業は▲27.7（前期▲66.7）、サービス業は▲63.2（前期▲80.0）、その他の業種は0.0（前期▲100.0）と5業種で上昇する見通しとなった。一方、卸売業は▲85.7（前期▲50.0）と1業種で下降する見通しとなった。新型コロナウイルス感染防止に伴う外出自粛により、休業を余儀なくされた事業所も多く、その結果今期の状況の下降に繋がったと考えられる。しかし、来期の見通しは上昇していることから、緊急事態宣言が解除され、今後の経済回復へ向けた期待が感じられる結果となった。

#### <業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

##### (1) 今期の状況 <業種別>



##### (2) 来期の見通し<業種別>



## 質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化    02 消費・需要の停滞    03 売上・受注減少    04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇    06 原材料・在庫不足    07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化    09 店舗・生産設備過剰    10 経費の増加    11 人手不足  
 12 人手過剰    13 利益率低下    14 代金回収難    15 資金繰り難    16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (63)	消費・需要の停滞 (47)	経費の増加 (24)
	前 期	売上・受注減少 (64)	消費・需要の停滞 (38)	競争激化 (30)
建設業	当 期	売上・受注減少 (13)	人手不足 (7) 利益率低下 (7)	消費・需要の停滞 (6) 原材料・仕入価格上昇 (6)
	前 期	競争激化 (8) 売上・受注減少 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (7)	原材料・仕入価格上昇 (6) 経費の増加 (6)
製造業	当 期	売上・受注減少 (15)	消費・需要の停滞 (8)	経費の増加 (7)
	前 期	売上・受注減少 (16)	経費の増加 (9)	消費・需要の停滞 (6)
卸売業	当 期	売上・受注減少 (8)	競争激化 (4) 消費・需要の停滞 (4)	売上・受注単価低下 (3)
	前 期	売上・受注減少 (7)	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	売上・受注単価低下 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2)
小売業	当 期	売上・受注減少 (13)	消費・需要の停滞 (12)	競争激化 (6)
	前 期	消費・需要の停滞 (13)	売上・受注減少 (12)	競争激化 (7)
サービス業	当 期	消費・需要の停滞 (12) 売上・受注減少 (12)	競争激化 (5) 資金繰り難 (5)	店舗・生産設備不足・老朽化 (4)
	前 期	売上・受注減少 (15)	競争激化 (6) 消費・需要の停滞 (6) その他 (6)	経費の増加 (5)
その他	当 期	消費・需要の停滞 (5)	人手不足 (3)	売上・受注減少 (2) 経費の増加 (2) 利益率低下 (2)
	前 期	売上・受注減少 (5)	消費・需要の停滞 (3)	経費の増加 (2)

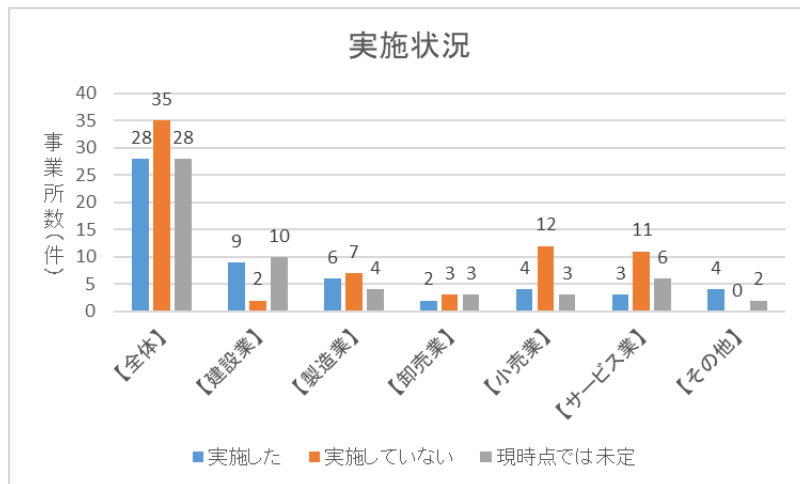
17 その他

- ・新型コロナウイルス問題
- ・事業引継に関する問題
- ・熟練技術者の不足

### 質問3 賃上げの実施状況について

#### 実施していない事業所の内約6割は小売業・サービス業が占める

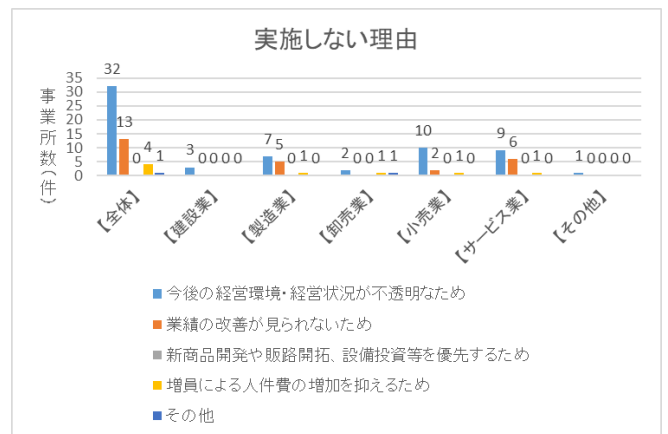
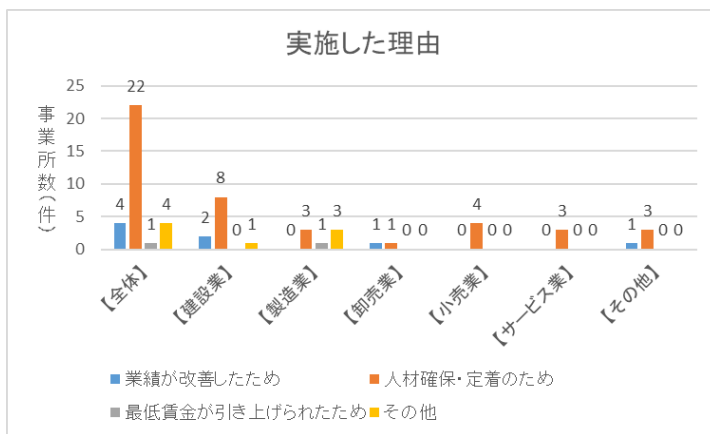
新型コロナウイルスの影響による雇用環境や賃金動向の変化に注目が集まるなか、倉吉市内の事業所における賃上げの実施状況について調査を行った。実施状況の結果としては下図に示す通りで、全体としては「実施していない」が若干多く挙げられ、「実施した」、「現時点では未定」は同じという結果になった。一方で、業種別に見ると小売業、サービス業では「実施していない」という回答が半数以上挙げられた。



#### 実施理由の約7割は人材確保／実施していない理由にはコロナの影響が窺える結果に

賃上げを実施する理由としては、「人材確保・定着のため」という回答が最も多く挙げられ、全体の約7割を占めた。また、その他の回答としては、「業務内容が増加したため」、「定期的なベースアップを実施しているため」が挙げられた。

一方、賃上げを実施しない理由としては、「今後の経営環境・経営状況が不透明なため」という回答が全体の約6割を占め、次いで「業績の改善が見られないため」という回答が挙げられた。また、その他の回答として、賃上げを予定していたがコロナの影響で延期したと答えた事業所もあった。



なお、同様の調査を平成30年4～6月期にも実施したが、その際には「実施した」は全体の45%、「実施していない」は20%、「現時点では未定」は34%を占めており、今回の調査と比較すると「実施した」が約1割減、「実施していない」が約2割増となった。また、日本商工会議所が6月に実施したLOBO調査によると、「実施した」が前年対比で約2割減、「実施していない」が前年対比で約2割増となっており、今回の調査と類似する結果を示した。

当調査やLOBO調査の結果から、賃上げの動向について新型コロナウイルスが影響を与えていることが示唆され、先行きが不透明ながらも人手を確保するための対策を講じなければならないという、事業所にとっては厳しい状況にあることが窺える結果となった。

#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・いつまでも続くコロナの影響が心配です。今現在借入しているお金の返済の金利を安くするとか期間を延ばす方法とか考えていただけると嬉しいです。
- ・業界はコロナの影響があまりなかった。
- ・民間建築が減少しているので、公共建築を発注してほしい。

##### 【製造業】

- ・引き続きコロナの影響に対する対策、支援を行っていただきたい。
- ・マスコミによる必要以上の不安を煽る偏向報道、維新の会以外の反日野党による政治の妨害にて、不況が増していると感じます。武漢肺炎については海外とは生活様式、民度、健康保険整備の面で大きく違い、比較することが間違っており、発生率、死亡率も低いので十分注意して経済活動を推し進めるべきと考えます。
- ・同業他県の方々と話をすると、鳥取県は良いほうだと感じます。

##### 【卸売業】

- ・コロナ支援（補助金等）の制度が小出しで頻繁に変わるのは混乱のもとです。市の支援の動き、他の自治体と比べて非常に遅くないですか。

##### 【小売業】

- ・地元で感染者が出ていないことには感謝しています。感染対策のゴールがわからず、迷うことばかりです。
- ・倉吉市を世の中に広めてください。
- ・コロナをきっかけとした消費減退。消費税廃止等の景気対策を。

##### 【サービス業】

- ・現在はまだ落ち着いているが、今後は景気が回復してくると思って日々頑張っています。
- ・コロナウイルスの影響による売上減が大である。地元の行事を早く再開して外に出やすい環境を作ることが必要。また、金利の返済を10年から20年にしてほしい。
- ・コロナウイルスの影響で観光はよくない。改善されてキャンペーン等もあれど、ウイルスの感染リスクが大きい。
- ・多少の景気の変動であるならば、当社にとって悪くないと考えています。しかし今起きている事態は普通ではないので緊急な対策として、個人消費拡大策として、消費税減税が必要と考えます。リーマンショック後のように何もなかった場合、また円高不況が来て財政が悪化して、結果として当社の業界は仕事が減ることになると思います。

##### 【その他】

- ・売上減少の見通しが不明。

D I 集 計(前年同期比=2020年4~6月期、来期の見通し=2020年7~9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-67.0	-57.8	-26.4	-18.9	-59.3	-51.7
製造業	-76.5	-64.7	-5.9	-5.8	-76.5	-52.9
非製造業	-64.9	-56.2	-31.1	-21.9	-55.4	-51.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-14.3	-22.5	1.1	-8.8	-7.7	-3.4
製造業	-17.6	-41.2	5.9	0.0	-5.9	-12.5
非製造業	-13.5	-18.1	0.0	-11.1	-8.1	-1.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-55.0	-37.9
製造業	-75.0	-50.0
非製造業	-50.6	-35.2

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-67.0	-57.8	-26.4	-18.9	-59.3	-51.7
建設業	-52.4	-47.6	-19.0	-19.0	-47.6	-38.1
製造業	-76.5	-64.7	-5.9	-5.8	-76.5	-52.9
卸売業	-100.0	-87.5	-12.5	-12.5	-87.5	-75.0
小売業	-52.6	-52.7	-26.3	-21.1	-26.3	-50.0
サービス業	-80.0	-73.6	-55.0	-36.8	-80.0	-68.4
その他	-50.0	0.0	-33.3	0.0	-50.0	-16.7
非製造業	-64.9	-56.2	-31.1	-21.9	-55.4	-51.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-14.3	-22.5	1.1	-8.8	-7.7	-3.4
建設業	4.7	-4.8	9.5	4.7	4.8	0.0
製造業	-17.6	-41.2	5.9	0.0	-5.9	-12.5
卸売業	-25.0	-25.0	-12.5	-12.5	-12.5	12.5
小売業	-5.3	-22.2	5.3	-11.1	-10.6	5.5
サービス業	-35.0	-31.5	-10.0	-25.0	-15.0	-15.8
その他	-16.6	0.0	0.0	-16.7	-16.7	0.0
非製造業	-13.5	-18.1	0.0	-11.1	-8.1	-1.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-55.0	-37.9
建設業	-38.1	-9.5
製造業	-75.0	-50.0
卸売業	-100.0	-85.7
小売業	-15.7	-27.7
サービス業	-85.0	-63.2
その他	-33.4	0.0
非製造業	-50.6	-35.2

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)



### 倉吉商工会議所企業景況調査票(2020年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2020年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(2020年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加    |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足     |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰     |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下    |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難    |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難    |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出    |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )         |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

【質問3】新型コロナウイルスの影響による雇用環境や賃金動向の変化が注目されていますが、それに関連して以下の質問にご回答ください

3-1. 貴社の2020年度(2020年4月~2021年3月)における賃上げの実施状況について

- ① ( ) 実施した → 3-2へ / ② ( ) 実施していない → 3-3へ / ③ ( ) 現時点では未定

3-2. 賃上げを実施した理由について(3-1で「実施した」と回答した方 ※複数回答可)

- ① ( ) 業績が改善したため / ② ( ) 人材確保・定着のため / ③ ( ) 最低賃金が引き上げられたため  
④ ( ) その他 ( )

3-3. 賃上げを実施しない理由について(3-1で「実施していない」と回答した方 ※複数回答可)

- ① ( ) 今後の経営環境・経営状況が不透明なため / ② ( ) 業績の改善が見られないため  
③ ( ) 新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため / ④ ( ) 増員による人件費の増加を抑えるため  
⑤ ( ) その他 ( )

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。